



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キッツ

コード番号 6498 URL <http://www.kitz.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堀田 康之

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 川口 忠昭

TEL 043-299-0114

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	27,040	△0.6	1,065	△38.6	1,125	△32.0	563	△35.0
25年3月期第1四半期	27,204	△3.1	1,734	15.3	1,655	18.2	866	32.1

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 2,076百万円 (25.1%) 25年3月期第1四半期 1,660百万円 (82.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	5.15	—
25年3月期第1四半期	7.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	101,985	61,738	59.5
25年3月期	99,972	60,219	59.3

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 60,725百万円 25年3月期 59,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.50	—	5.00	9.50
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	55,600	△0.0	2,600	△27.5	2,500	△26.5	1,500	△25.0	13.73
通期	120,000	7.8	7,200	9.8	7,100	8.9	4,300	6.4	39.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3の「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	120,396,511 株	25年3月期	120,396,511 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	11,175,798 株	25年3月期	11,175,323 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	109,220,878 株	25年3月期1Q	109,222,738 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。なお、予想数値に関する事項は、添付資料P. 3の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和政策や財政政策への期待感から円安・株高で推移したことを受けて、輸出企業を中心とした景況感の改善や個人消費の回復がみられました。海外経済におきましては、米国に堅調な成長はみられる一方、欧州の景気低迷と中国の景気減速などにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間は、バルブ事業において海外市場向けがほぼ前期並みとなる中、国内市場向けが減収となった結果、伸銅品事業において大幅に増収となりましたが、売上高は前年同期比0.6%減の270億40百万円となりました。損益面では、営業利益は、バルブ事業において国内需要が低迷する中、販売量の減少及び販売価格の下落などにより、前年同期比38.6%減の10億65百万円、経常利益は、為替差益の計上はありましたが、前年同期比32.0%減の11億25百万円となりました。四半期純利益につきましては、前年同期比35.0%減の5億63百万円となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

① バルブ事業

バルブ事業の外部売上高は、国内市場において需要の低迷により、建築設備向け及びプラント向けともに減少する中、海外市場においては、欧米向けを中心に増加はありましたが、アジア・中東向けが減少したことにより、前年同期比3.5%減の197億17百万円となりました。営業利益は、国内において需要の低迷と販売価格の下落に加え、材料費の上昇や、海外生産品の輸入に対する円安によるコストアップなどもあり、前年同期比29.5%減の16億42百万円となりました。

② 伸銅品事業

伸銅品事業の外部売上高は、前年比での銅相場の上昇による販売単価の上昇と、需要増に伴う販売量の増加により、前年同期比16.4%増の53億12百万円となり、営業利益は、前年同期比19.9%増の1億47百万円となりました。

③ その他

その他の外部売上高は、フィットネス事業及びホテル事業において減収となったことに加え、諏訪ガラスの里の事業を前年6月1日付で売却したことにともない売上高が減少した結果、前年同期比8.9%減の20億10百万円となりました。営業利益は、フィットネス事業において競争が激化する中、販売費が増加したことなどもあり、前年同期比77.3%減の7百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、法人税等の納付などの支出による現預金の減少などがありましたが、売上債権の増加や棚卸資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ20億13百万円増加し1,019億85百万円となり、負債につきましては、有利子負債の増加などにより、前連結会計年度末に比べ4億94百万円増加し402億47百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払による利益剰余金の減少はありましたが、当第1四半期の純利益5億63百万円に加え、円安による為替換算調整勘定のマイナス幅の減少などにより、前連結会計年度末に比べ15億18百万円増加し617億38百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ17億5百万円減の43億36百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益は10億83百万円、減価償却費は7億77百万円となりましたが、法人税等の支払15億43百万円、たな卸資産の増加額10億85百万円、売上債権の増加7億82百万円などにより、営業活動によるキャッシュ・フローは24億25百万円の資金の減少（前年同期は6億4百万円の増加）となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

バルブ事業を中心に8億79百万円の設備投資を行ったことなどにより、投資活動によるキャッシュ・フローは10億25百万円の資金の減少（前年同期は11億12百万円の減少）となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金10億28百万円の返済や、配当金の支払5億46百万円などがありましたが、一方で短期借入金が29億10百万円増加した結果、財務活動によるキャッシュ・フローは15億50百万円の資金の増加（前年同期は3億12百万円の減少）となりました。

(注) 当社では短期の運転資金需要の発生に備え、当社取引銀行との間で総額40億円のコミットメントライン契約を締結しております。なお、当第1四半期連結会計期間末における当該借入金の残高はありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

バルブ事業におきまして、国内需要の低迷により建築設備向け及びプラント向けの売上が伸び悩んだ当第1四半期の状況が第2四半期も継続することが見込まれることから、平成25年5月13日に公表いたしました第2四半期連結累計期間の連結業績予想を次の通り修正いたします。

なお、通期の連結業績予想につきましては、下期より国内需要の回復及び消費税増税前の駆け込み需要も予想されることから修正を行いません。

(第2四半期連結累計期間)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	59,000	3,200	3,100	1,900	17. 39
今回発表予想 (B)	55,600	2,600	2,500	1,500	13. 73
増減額 (B - A)	△3,400	△600	△600	△400	—
増減率 (%)	△5.8	△18.8	△19.4	△21.1	—
[ご参考] 前期第2四半期実績 (平成25年3月期 第2四半期)	55,605	3,587	3,403	1,999	18. 30

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,662	4,947
受取手形及び売掛金	22,857	22,201
電子記録債権	952	2,864
商品及び製品	7,095	8,310
仕掛品	3,744	4,130
原材料及び貯蔵品	6,277	6,432
その他	2,397	2,545
貸倒引当金	△31	△31
流動資産合計	49,956	51,400
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,375	12,467
土地	10,981	11,081
その他（純額）	12,454	12,763
有形固定資産合計	35,811	36,313
無形固定資産		
のれん	1,385	1,342
その他	1,884	1,945
無形固定資産合計	3,269	3,287
投資その他の資産	10,935	10,984
固定資産合計	50,016	50,585
資産合計	99,972	101,985
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,259	5,475
1年内償還予定の社債	1,728	1,678
短期借入金	2,403	5,428
1年内返済予定の長期借入金	3,576	3,235
未払法人税等	1,718	679
賞与引当金	1,624	856
役員賞与引当金	163	21
その他	4,675	4,715
流動負債合計	21,149	22,089
固定負債		
社債	8,282	8,132
長期借入金	6,330	6,050
退職給付引当金	514	525
役員退職慰労引当金	301	263
資産除去債務	425	425
その他	2,750	2,760
固定負債合計	18,603	18,158

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債合計	39,752	40,247
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,207	21,207
資本剰余金	9,430	9,430
利益剰余金	33,675	33,692
自己株式	△3,918	△3,918
株主資本合計	60,394	60,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,697	1,742
為替換算調整勘定	△2,849	△1,427
その他の包括利益累計額合計	△1,151	314
少数株主持分	977	1,012
純資産合計	60,219	61,738
負債純資産合計	99,972	101,985

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	27,204	27,040
売上原価	20,769	21,053
売上総利益	6,434	5,986
販売費及び一般管理費	4,700	4,921
営業利益	1,734	1,065
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	74	74
為替差益	—	74
その他	66	63
営業外収益合計	141	214
営業外費用		
支払利息	71	60
売上割引	71	76
為替差損	47	—
その他	30	16
営業外費用合計	221	154
経常利益	1,655	1,125
特別利益		
有形固定資産売却益	3	1
その他	0	0
特別利益合計	4	1
特別損失		
有形固定資産除売却損	5	16
減損損失	105	25
その他	26	1
特別損失合計	136	43
税金等調整前四半期純利益	1,523	1,083
法人税等	654	525
少数株主損益調整前四半期純利益	868	558
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1	△4
四半期純利益	866	563

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	868	558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△203	44
為替換算調整勘定	995	1,474
その他の包括利益合計	791	1,518
四半期包括利益	1,660	2,076
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,628	2,029
少数株主に係る四半期包括利益	32	47

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,523	1,083
減価償却費	673	777
賞与引当金の増減額(△は減少)	△444	△782
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△18	8
受取利息及び受取配当金	△75	△76
支払利息	71	60
売上債権の増減額(△は増加)	△948	△782
たな卸資産の増減額(△は増加)	393	△1,085
その他の流動資産の増減額(△は増加)	109	△202
仕入債務の増減額(△は減少)	△541	△146
その他の流動負債の増減額(△は減少)	236	324
その他	147	△65
小計	1,126	△888
利息及び配当金の受取額	76	77
利息の支払額	△76	△71
法人税等の支払額	△520	△1,543
営業活動によるキャッシュ・フロー	604	△2,425
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,097	△879
有形固定資産の売却による収入	7	1
無形固定資産の取得による支出	△272	△309
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
その他	252	164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,112	△1,025
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,393	2,910
長期借入れによる収入	30	400
長期借入金の返済による支出	△1,082	△1,028
社債の償還による支出	△200	△200
配当金の支払額	△436	△546
その他	△17	14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△312	1,550
現金及び現金同等物に係る換算差額	147	194
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△674	△1,705
現金及び現金同等物の期首残高	5,635	6,042
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,961	4,336

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	バルブ 事業	伸銅品 事業	その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高					
外部顧客への売上高	20,433	4,563	2,207	—	27,204
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	554	9	△608	—
計	20,478	5,117	2,216	△608	27,204
セグメント利益	2,328	122	32	△748	1,734

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネスクラブ事業及びホテル及びレストラン事業等を含んでいる。

2. セグメント利益の調整額△748百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△748百万円が含まれている。全社費用は、主に当社の本社の総務人事部、経理部、経営企画部等の発生費用で、幕張本社ビルの管理費用を含んでいる。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はない。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	バルブ 事業	伸銅品 事業	その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高					
外部顧客への売上高	19,717	5,312	2,010	—	27,040
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45	812	9	△867	—
計	19,762	6,125	2,019	△867	27,040
セグメント利益	1,642	147	7	△731	1,065

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネスクラブ事業及びホテル及びレストラン事業等を含んでいる。

2. セグメント利益の調整額△731百万円には、セグメント間取引消去△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△728百万円が含まれている。全社費用は、主に当社の本社の総務人事部、経理部、経営企画部等の発生費用で、幕張本社ビルの管理費用を含んでいる。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はない。